

2024 年度事業報告

概要報告

2024 年度の大きな出来事は「高額療養費制度 自己負担額引き上げ」問題で、社会でも大きな議論を呼びました。全国骨髓バンク推進連絡協議会（以下、全国協議会）では国に要望書を提出することとし、骨髓・さい帯血バンク・献血推進議員連盟の笹川博義会長のご尽力を得て、仁木博文厚生労働副大臣に直接、厚生労働大臣・厚生労働副大臣宛の要望書を手渡しました。多くの患者団体、関係団体も同様の要望書を出した結果、2025 年 8 月に予定されていた自己負担額引き上げは見送りとなりましたが、今後も注視が必要です。

1995 年 9 月に助成申請受付を開始した佐藤きち子基金は、2025 年に設立 30 周年を迎えます。この 30 年間に 400 人近くの患者さんを支援し、助成金額の累計は 2025 年 1 月に 1 億円を突破しました。全国協議会の活動の大きな成果で、皆様のご支援に感謝申し上げます。

公益財団法人日本骨髓バンクでは 2024 年 6 月に岡本真一郎新理事長が就任しました。同理事長と今後の更なる連携を確認し合いました。また、同財団の広報渉外部長と定期的に意見交換を行い、実務レベルで諸課題の解決に取り組んでいます。

会員団体では、2022 年度の埼玉骨髓バンク推進連絡会、2023 年度のあいち骨髓バンクを支援する会に続き、2024 年度は千葉骨髓バンク推進連絡会が第一生命保険株式会社の「保健文化賞」を受賞しました。同賞受賞は「保健衛生および関連する福祉等の分野において、優れた功績をあげた」という荣誉だけではなく、社会の関心を骨髓バンク事業や血液難病患者支援に向けてもらう契機となるもので、全国協議会の目的に大きく寄与するものです。今後も骨髓バンクボランティア団体の受賞が続くことができれば大きな意義を持つこととなります。

2024 年秋から「白血病と言われたら」第 7 版の編集作業を開始し、「設立 35 周年 2025 全国骨髓バンクボランティアの集い in 名古屋（2025 年 5 月 24 日開催）」で発行しました。最新の医療情報を掲載するとともに、患者さんとそのご家族、ドナーさんとそのご家族の寄稿が更に充実しています。

一方、2025 年 3 月に沖縄県骨髓バンクを支援する会が解散し全国協議会を退会しました。沖縄の会の功績は大きく、大変残念な出来事でした。

設立から 35 年が経過した今、全国協議会は大きな節目を迎えています。これ
からも時代の変化に柔軟に対応し、血液難病の患者さんとそのご家族の支援に
取り組んでまいります。

2024 年度は、皆様のご支援の下、多数の活動を行ってまいりました。以下に
事業別に報告いたします。

事業別報告

1. 普及啓発事業

(1) 普及啓発活動

1) 主催・共催、協力、名義後援などによる普及啓発

① 主催事業 計 1 件

2024 年度は 4 年ぶりに、新宿区立角筈区民ホールにおいて、一堂に会し
てのボランティアの集いとなりました。2024 年度は『もう一人の私 ～あ
なたに届けるメッセージ～』と題し、全国から 9 人の移植を受けた患者
さんに参加いただき、移植前後の様子やご苦労などを司会の進行に沿って
話していただきました。

時折笑いが起こる和やかな雰囲気では進みました。そして登壇者一人
ひとりが手紙にしたためたドナーさんに対する感謝の気持ちを読み上げま
した。移植を受けた患者さんの純粋で率直な気持ちが伝わり、会場は大き
な感動に包まれました。

開催期間		内 容	参加 人数	開催場所
2024 年	5 月 25 日	2024 全国ボランティアの集い in 東京新宿	150 人	新宿区立角筈区民ホール

② 事業共催 計 13 件

2023 年度から全国のボランティア団体と全国協議会の連携が強化されま
した。各地団体と全国協議会が連携・協力して患者支援活動、骨髄バンク
事業啓発活動を行う事業共催制度も導入 3 年目を迎え、開催件数も増えて
きました。今後も加盟、非加盟を問わず、全国の団体と連携して、実務的
な患者支援活動、骨髄バンク事業啓発活動を積極的に展開していきます。

開催期間		事 業 名	開催場所	主 催
2024 年	5 月 18 日	骨髄バンクチャリティーコンサート 円覚寺ピアノ三重奏の夕べ	神奈川県 鎌倉市	神奈川骨髄移植を考える会

2024 年	6 月 9 日	30 周年情報交換会	東京都 新宿区	フェニックスクラブ
	6 月 23 日	2024 年度 ボランティア意見交換会	大阪府 大阪市	NPO 法人 関西骨髄バンク推進協会
	8 月 23 日	骨髄バンク支援「命をつなぐ」 コンサート	鹿児島県 鹿児島市	かごしま骨髄バンク推進連絡 会議
	9 月 23 日	骨髄バンク支援「命をつなぐ」 コンサート	鹿児島県 鹿児島市	かごしま骨髄バンク推進連絡 会議
	10 月 13 日	骨髄バンク啓発イベント 「骨髄バンクの輪を広げよう！」	熊本県 上益城郡	骨髄バンクくまもと
	10 月 19 日	あなたの想いがいのちをつなぐ 「いち逢い」でドナー倍増プロジ ェクト	山形県 山形市	骨髄バンクを支援するやまが たの会
	11 月 16 日	骨髄バンクチャリティ 「コンサートと落語会」	千葉県 成田市	千葉骨髄バンク推進連絡会
	11 月 17 日	あなたの想いがいのちをつな ぐ「いち逢い」でドナー倍増 プロジェクト	山形県 米沢市	骨髄バンクを支援するやまが たの会
	11 月 17 日	ピアノ三重奏チャリティコン サート 2024 響	東京都 文京区	骨髄バンクを支援する東京の 会
	11 月 23 日	第 31 回骨髄バンクチャリティ コンサート	埼玉県 浦和区	埼玉骨髄バンク推進連絡会
	12 月 22 日	骨髄バンク支援クリスマスコ ンサート 2024	兵庫県 姫路市	姫路地区骨髄バンク推進セン ター
2025 年	3 月 4 日	骨髄バンクチャリティー 阿部博光・ 阿部佳子春待ちコンサート 阿部博光フルートリサイタルシリー ズ・スペシャル	北海道 札幌市	北海道骨髄バンク推進協会

③ 名義共催 計 1 件

開催期間		事業名	開催場所	主 催
2024 年	10 月 27 日	第 30 回県民公開講座「骨髄移植を 知ろう」	青森県 八戸市	第 30 回県民公開講座骨髄移植を 知ろう実行委員会

④ 協力事業 計 2 件

コロナが第 5 類に移行後、各種イベントも従来のペースに復活してきました。グリーンリボンも復活後 3 年連続の協力事業となりました。近隣ボランティアの皆さんの協力を得て、啓発に取り組みました。AYA week 2025 は例年の広報の協力に加え、大交流会でのブース設営や動画で患者支援基金の紹介を行いました。

開催期間		事業名	開催場所	主 催
2024 年	10 月 14 日	2024 グリーンリボンランニングフェスティバル	東京都世田谷区	NPO 法人日本移植者協議会 ほか
2025 年	3 月 8 日 ～3 月 16 日	AYA week 2025	全国各地	一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会 「AYA week 2025」実行委員会

⑤ 名義後援事業 計 7 件

晴天の下 2 日間にわたり行われた SNOWBANK では献血 463 人、ドナー登録 100 人という大きな成果が上がりました。毎年参加している全国協議会も、ボランティアの皆様による登録会における説明員活動、ブースの設営で参加しました。

開催期間		事業名	開催場所	主 催
2024 年	6 月 21 日	第 11 回がん患者支援チャリティーセミナー&コンサート 進化するがん治療～血液腫瘍治療（白血病・多発性骨髄腫等）の進化を考える	東京都港区	特定非営利活動法人 地域チーム医療推進協議会
	8 月 6 日 ～8 月 20 日	第 14 回「いのちのつながり展」 「伝えよう！いのちのつながり」作品展 献血・骨髄バンク・さい帯血バンク啓発ポスター展	大阪府池田市	大阪池田モラロジー事務所 届け！関西からいのちのバトン！
	8 月 9 日 ～8 月 29 日	献血・骨髄バンク・さい帯血バンク啓発 絵本「春ちゃんは元気です」展	大阪府守口市	認定 NPO 法人つながるいのち
	8 月 25 日	骨髄バンクチャリティー麻雀大会 2024in 東京	東京都港区	骨髄バンクチャリティー麻雀大会実行委員会
	11 月 9 日 ～11 月 10 日	東京雪祭 SNOW BANK PAY IT FORWARD 2024	東京都渋谷区	一般社団法人 SNOWBANK
2025 年	3 月 1 日	第 47 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 市民公開講座	大阪府大阪市	第 47 回日本造血・免疫細胞療法学会総会
	3 月 31 日	映画『みんな生きている～二つ目の誕生日～』上映会	埼玉県さいたま市	埼玉骨髄バンク推進連絡会

⑥ 展示会への協力

2023 年度に引き続き、2024 年度も多数のパネル展が開催されました。全国各地で開催されるパネル展ですが、開催期間の重複などにより、展示パネル等の資材が不足するという事態も起こりました。今後、そのようなことのないように、あやちゃんのお父さま、MAMOくんのお母

さまのご協力を得て、原画のデータを取り込み対応できるように準備を進めます。今後、イベントスケジュールの重複による資材不足のため、各地団体からの要望に応えられない、ということのないように対応していきます。また、従来、個人情報には注意をはらいながら患者さんとドナーさんがやり取りした手紙を展示していましたが、ペアの特定につながることをないようにさらに配慮をした上で、2024年度からは患者さん、ドナーさんそれぞれが、会えないけれど伝えたい今の思いを綴ったメッセージ展として開催しています。

骨髄バンク事業の啓発に非常に有効なイベントのため、これからも患者さん支援のために全国の仲間とともに活動を強化していきます。

MAMO のメッセージ展 計 16 カ所（1997 年 6 月から事業開始 累計開催数 179 回）

開催期間		開催場所		主 催
2024年	3 月 25 日 ～4 月 23 日	千葉県 山武市	山武市役所正面玄関ロビー (いのちの輝き展、わたしが がんばったよ同時開催)	千葉骨髄バンク推進連絡会
	4 月 24 日 ～5 月 31 日	山形県 米沢市	米沢市役所 1 階市民ホール	山形県米沢市健康福祉部健康課
	5 月 1 日 ～5 月 14 日	千葉県 富里市	富里市立図書館 1 階市民ギャラリー (いのちの輝き展、わたしが がんばったよ同時開催)	千葉骨髄バンク推進連絡会
	6 月 1 日 ～6 月 8 日	宮城県 石巻市	イオンモール石巻 (あやちゃん展、患者とドナ ーのメッセージ展同時開催)	石巻骨髄バンクの会
	6 月 1 日 ～6 月 15 日	千葉県 柏市	柏市パレット柏 市民交流センター (いのちの輝き展、わたしが がんばったよ同時開催)	千葉骨髄バンク推進連絡会
	6 月 20 日 ～7 月 16 日	千葉県 鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市役所市民ホール (いのちの輝き展、わたしが がんばったよ同時開催)	千葉骨髄バンク推進連絡会
	7 月 22 日 ～8 月 6 日	千葉県 茂原市	茂原市立図書館 (いのちの輝き展、わたしが がんばったよ同時開催)	千葉骨髄バンク推進連絡会
	8 月 18 日 ～9 月 8 日	千葉県 長柄町	長柄市公民館・ながランホ ール (いのちの輝き展、わた しががんばったよ同時開催)	千葉骨髄バンク推進連絡会
	9 月 10 日 ～9 月 24 日	千葉県 市川市	市川市役所第一庁舎 2 階エレベーター前 (いのちの輝き展、わたしが がんばったよ同時開催)	千葉骨髄バンク推進連絡会

2024年	9月27日 ～11月29日	山形県 山形市	山形県生涯学習センター「遊学館」県庁ロビー、等	山形県健康福祉部医療政策課
	10月1日 ～10月15日	千葉県 船橋市	イオンモール船橋（いのちの輝き展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	10月7日 ～10月21日	千葉県 千葉市	千葉県庁本庁舎1階連絡通路（いのちの輝き展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	10月22日 ～11月5日	千葉県 八街市	八街市立図書館（いのちの輝き展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	12月10日 ～12月24日	千葉県 市原市	市原市中央図書館（いのちの輝き展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
2025年	1月7日 ～1月28日	千葉県 八千代市	八千代市役所新館1階受付横（いのちの輝き展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	3月4日 ～3月25日	千葉県 香取郡	多古町コミュニティプラザ展示ホール（いのちの輝き展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会

いのちの輝き展 計 18 カ所（2006 年 6 月から事業開始 累計開催数 185 回）

開催期間		開催場所		主 催
2024年	3月25日 ～4月23日	千葉県 山武市	山武市役所正面玄関ロビー（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	5月1日 ～5月14日	千葉県 富里市	富里市立図書館1階市民ギャラリー（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	6月1日 ～6月15日	千葉県 柏市	柏市パレット柏 市民交流センター（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	6月20日 ～7月16日	千葉県 鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市役所市民ホール（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	7月22日 ～8月6日	千葉県 茂原市	茂原市立図書館（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会

2024 年	8 月 1 日 ～8 月 31 日	滋賀県 蒲生郡	日野町立図書館	滋賀骨髓献血の和を広げる会
	8 月 18 日 ～9 月 8 日	千葉県 長柄町	長柄市公民館・ながランホール（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	9 月 10 日 ～9 月 24 日	千葉県 市川市	市川市役所第一庁舎2階エレベーター前（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	10 月 1 日 ～10 月 29 日	滋賀県 甲賀市	甲賀市役所	滋賀骨髓献血の和を広げる会
	10 月 1 日 ～10 月 15 日	千葉県 船橋市	イオンモール船橋（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	10 月 7 日 ～10 月 21 日	千葉県 千葉市	千葉県庁本庁舎 1 階連絡通路（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	10 月 12 日 ～10 月 13 日	滋賀県 大津市	滋賀医科大学	滋賀骨髓献血の和を広げる会
	10 月 22 日 ～11 月 5 日	千葉県 八街市	八街市立図書館（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	12 月 10 日 ～12 月 24 日	千葉県 市原市	市原市中央図書館（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
2025年	1 月 7 日 ～1 月 28 日	千葉県 八千代市	八千代市役所新館 1 階受付横（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	2 月 3 日 ～2 月 12 日	滋賀県 湖南市	イオンタウン湖南	滋賀骨髓献血の和を広げる会
	3 月 2 日	東京都 千代田区	東京国際フォーラム G 棟 410（東京マラソンチャリティラウンジ）	全国骨髓バンク推進連絡協議会
	3 月 4 日 ～3 月 25 日	千葉県 香取郡	多古町コミュニティプラザ展示ホール（MAMO 展、わたしががんばったよ同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会

あやちゃんの贈り物展 計5カ所（1994年7月から事業開始 累計開催数 289回）

開催期間		開催場所		主 催
2024年	6月1日 ～6月8日	宮城県 石巻市	イオンモール石巻 （あやちゃん展、MAMOの メッセージ展同時開催）	石巻骨髓バンクの会
	9月17日 ～10月18日	山形県 米沢市	すこやかセンター1階ロビ ー	山形県米沢市健康課
	10月10日 ～10月11日	北海道 札幌市	北海道庁本館1階ロビー特 設展示場	北海道骨髓バンク推進協会
	11月2日 ～11月9日	宮城県 石巻市	イオンモール石巻 （患者とドナーのメッセー ジ展同時開催）	石巻骨髓バンクの会
2025年	3月4日	北海道 札幌市	札幌コンサートホール Kitara	北海道骨髓バンク推進協会

患者とドナーのメッセージ展 計2カ所（2004年9月から事業開始 累計開催数 63回）

開催期間		開催場所		主 催
2024年	6月1日 ～6月8日	宮城県 石巻市	イオンモール石巻 （あやちゃん展、MAMO展 同時開催）	石巻骨髓バンクの会
	11月2日 ～11月9日	宮城県 石巻市	イオンモール石巻 （あやちゃん展同時開催）	石巻骨髓バンクの会

わたしががんばったよ展 計13カ所（2012年11月から事業開始 累計開催数 66回）

開催期間		開催場所		主 催
2024年	3月25日 ～4月23日	千葉県 山武市	山武市役所正面玄関ロビー （MAMO展、いのちの輝き 展同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	5月1日 ～5月14日	千葉県 富里市	富里市立図書館1階市民ギャラ リー（MAMO展、いのちの輝 き展同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	6月1日 ～6月15日	千葉県 柏市	柏市パレット柏 市民交流セン ター（MAMO展、いのちの輝 き展同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会
	6月20日 ～7月16日	千葉県 鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市役所市民ホール （MAMO展、いのちの輝き 展同時開催）	千葉骨髓バンク推進連絡会

2024 年	7 月 22 日 ～8 月 6 日	千葉県 茂原市	茂原市立図書館 (MAMO 展、いのちの輝き 展同時開催)	千葉骨髓バンク推進連絡会
	8 月 18 日 ～9 月 8 日	千葉県 長柄町	長柄市公民館・ながランホ ール (MAMO 展、いのちの 輝き展同時開催)	千葉骨髓バンク推進連絡会
	9 月 10 日 ～9 月 24 日	千葉県 市川市	市川市役所第一庁舎2階エレベーター前 (MAMO 展、いのちの輝き 展同時開催)	千葉骨髓バンク推進連絡会
	10 月 1 日 ～10 月 15 日	千葉県 船橋市	イオンモール船橋 (MAMO 展、いのちの輝き 展同時開催)	千葉骨髓バンク推進連絡会
	10 月 7 日 ～10 月 21 日	千葉県 千葉市	千葉県庁本庁舎 1 階連絡通路 (MAMO 展、いのちの輝き 展同時開催)	千葉骨髓バンク推進連絡会
	10 月 22 日 ～11 月 5 日	千葉県 八街市	八街市立図書館 (MAMO 展、 いのちの輝き展同時開催)	千葉骨髓バンク推進連絡会
	12 月 10 日 ～12 月 24 日	千葉県 市原市	市原市中央図書館 (MAMO 展、いのちの輝き 展同時開催)	千葉骨髓バンク推進連絡会
2025年	1 月 7 日 ～1 月 28 日	千葉県 八千代 市	八千代市役所新館 1 階受付横 (MAMO 展、いのちの輝き 展同時開催)	千葉骨髓バンク推進連絡会
	3 月 4 日 ～3 月 25 日	千葉県 香取郡	多古町コミュニティプラザ展 示ホール (MAMO 展、いのち の輝き展同時開催)	千葉骨髓バンク推進連絡会

2) 啓発グッズの作成・頒布

2023 年度に本格的に展開されたハローキティの啓発グッズの新デザイン
のアイテム（ポケットティッシュ、クリアファイル）が好評で、2023
年度に引き続き、多くの引き合いがありました。2024 年度は加盟団体、
地方自治体に加え、今まで特に取り扱いのなかったボランティア団体
（非加盟団体）からの引き合いもありました。2025 年度も啓発グッズの
輪が広がることを期待したいと思います。

グッズの作成と活用

グッズ名	頒布先・頒布数		作成数・作成時期	
ハローキティポケットティッシュ	加盟団体へ 地方自治体など	54,795個 42,400個	100,000個	2025年 3月

ハローキティクリアファイル	加盟団体へ 地方自治体など	1,623枚 925枚	4,000枚	2024年 3月
ハローキティ横断幕	加盟団体へ 地方自治体など	3枚 1枚	—	—
ハローキティのぼり	加盟団体へ 地方自治体など	4枚 7枚	—	—
ハローキティうちわ	加盟団体へ 地方自治体など	157枚 80枚	5,000枚	2019年 7月
今治のミニハンカチ	加盟団体へ 地方自治体など	2,153枚 620枚	6,156枚	2023年 3月

（２）東京マラソン 2025・箱根駅伝沿道応援の取り組み

2025 年 3 月 2 日（日）に東京マラソン 2025 が開催されました。寄付先団体である全国協議会に割り振られたチャリティランナー枠 50 人を上回る多くの申し込みがあり、最終的には 54 人のチャリティランナーが参加してくださり、寄付金総額も 1,250 万円に達し、東京マラソンにおける全国協議会に対するチャリティ金額としては過去最高額となりました。大会に先立つ 2 月 27 日（木）、28 日（金）、3 月 1 日（土）の 3 日間、東京ビッグサイトで EXPO（チャリティランナーが出走手続と寄付先団体との交流を図る場）に参加しましたが、全国協議会のブースには複数のドナーさんが来訪してくれました。近日中にドナーになる可能性があるため 2025 年の出走を見送った方、2024 年はドナーになったために出走を見送ったが無事提供を終了し、2025 年は全国協議会のチャリティランナーとして参加された方からは「走りたい」、しかし「ドナーの責任を全うしたい」という強い思いをお聞かせいただきました。また、EXPO のただ中、ボランティアでブースを切りまわしていた方の息子さんから「ドナーに決定したよ！」という連絡が入るなど、様々なドラマがありました。

チャリティランナーに対するおもてなしは、年を追うごとに内容が充実し、ランナーだけではなくご家族や友人にも大変好評でした。

また、コロナから復活した箱根駅伝では、全国協議会関係者だけではなく、今年もプルデンシャル生命保険株式会社の社員の方々、そのご家族の方々が大勢参加してくださいました。後日、同社で寄付贈呈式がありました。贈呈式にも多くの社員の方々が参加してくださる中、大谷貴子副会長、梅田正造理事長が挨拶し、「来年もまた箱根駅伝の沿道応援でお会いしましょう！」と固い約束を交わしていました。

プルデンシャル生命保険株式会社からのご寄付は全て佐藤きち子基金に充当させていただきました。

(3) 情報発信

・機関紙の定期発行（計 12 回）

全国協議会ニュース 第 380～391 号 毎月 3,000 部発行×12 回（毎月 1 日発行）行政、議員、関係機関、医療関係者、寄付者、各地団体などへ発送しました。

号数	発行月	主な記事内容
No.380	2024 年 4 月	東京マラソン 2024 開催 ボランティアの集い参加募集
No.381	2024 年 5 月	第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会への参加 佐藤さち子基金申請要件緩和
No.382	2024 年 6 月	「白血病と言われたら」医療機関に贈呈 田中重勝副会長 造血細胞移植功労賞受賞
No.383	2024 年 7 月	全国協議会 2024 年度通常総会開催
No.384	2024 年 8 月	奈良市役所職員健康診断での集団登録会 日本骨髄バンクの理事改選
No.385	2024 年 9 月	日本骨髄バンク新理事長に岡本真一郎氏就任 「スワブ&オンラインドナー登録」トライアルの状況
No.386	2024 年 10 月	都道府県別「ドナー休暇制度」および「ドナー助成制度」導入実績 マンスリーサポーター募集開始
No.387	2024 年 11 月	移植医療対策推進室長に島田志帆さんが就任
No.388	2024 年 12 月	え!!福島県たったの 5 社とは「ドナー休暇導入」全県民運動の 始まり
No.389	2025 年 1 月	新年の挨拶（理事長、関係機関代表者） 全国骨髄バンク推進連絡協議会への加盟のご案内
No.390	2025 年 2 月	佐藤さち子基金助成累計 1 億円を突破
No.391	2025 年 3 月	高額療養費制度自己負担上限引き上げの撤回を求める要望書提出

・Instagramでの情報発信

2023 年度から本格的に始まった Instagram による情報発信。2024 年度はフリーダイヤル関連情報、患者支援基金関連情報、ボランティアの活動、移植患者さんの感謝のメッセージ、東京マラソンやスノーバンクをはじめとしたさまざまなイベント情報の発信、報告など、多彩な情報を発信し続けました。その結果、現在は約 670 人の方にフォローいただいています。

(4) その他

・学生の学習、研修対応

2025 年 3 月 4 日 中野区立中野中学校 社会貢献の学習 10 人

今年は梅田理事長も参加され、中学 2 年生の皆さんに骨髄バンクボランティアの活動を中心に、社会貢献活動について話しました。

最後に「あやちゃんの贈り物」の紹介をすると、生徒さんたちだけではなく引率の先生も強い関心を示していました。

・寄付贈呈 計 3 回

開催期間		内 容	主催者・事業名等
2025年	2月11日	寄付贈呈（山村詔一郎副理事長）	ゴールドジム関西スクール発表会2025
	2月15日	寄付贈呈（村上忠雄副理事長）	ゴールドジム関西スクール発表会2025
	2月20日	寄付贈呈（大谷貴子副会長、梅田正造理事長）	プルデンシャル生命保険株式会社

2. 患者・ドナー支援事業

(1) 患者・家族への支援活動

①「白血病フリーダイヤル」による相談活動

「白血病フリーダイヤル」の、2024 年度の開設回数は 24 回、受付相談件数は 136 件（前年度 141 件）でした。2024 年度末に新たに専用の PC を 3 台導入し、相談内容のデータ化に取り組むことになりました。これにより、活動が更に充実するものと思われます。本格稼働は 2025 年度から始まります。

白血病フリーダイヤル（患者・家族相談受付）（累計 1,318 回、9,319 件）

開設回数 24 回（第 2、第 4 土曜日）

受付相談件数 136 件

相談員数 延べ 96 人（うち医師 延べ 24 人）

②ハンドブック「白血病と言われたら」の頒布活動

東京マラソン 2024 チャリティの企画として、チャリティランナーに患者さんへのエールなどを書いてもらったメッセージカードを添えて医療機関などに計 244 セットを寄贈しました。2024 年秋口から「白血病と言われたら」第 7 版の編集作業が始まり、「設立 35 周年 2025 全国骨髄バンクボランティアの集い in 名古屋（2025 年 5 月 24 日開催）」で発行の運びとなりました。今回も約 50 人の血液内科の先生方をはじめとした各分野の専門家が患者さんのために協力してくれています。第 7 版では最新の医療情報を掲載するとともに、患者さんとそのご家族、ドナーさんとそのご家族の寄稿が更に充実したのが特徴です。

第 7 版は全国約 200 人の HCTC（造血細胞移植コーディネーター）を通じて、認定診療科、医療相談室に提供する予定です。患者さんのより近くに届けることを計画しています。

《2024 年度出荷状況（第 6 版）》

・ 有料頒布数

上巻 116 部 下巻 117 部

・ 啓発用頒布数

上巻 335 部 下巻 335 部

・ ダウンロード数

1,344 件（累計 7,973 件）

③移植患者への経済的支援「佐藤さち子記念造血細胞移植患者支援基金」

1995 年 9 月に助成申請受付を開始した佐藤さち子基金は、今年設立 30 周年を迎えます。この 30 年間に 400 人近くの患者さんを支援し、助成金額の累計は 2025 年 1 月に 1 億円を突破しました。途中、資金枯渇による 3 度の活動休止がありましたが、それを乗り越えて節目の年を迎えることができました。これも支援者の皆様、関係者の皆様のおかげですが、その感謝の気持ちを胸にこれからも移植患者さんを支え続けていきます。

2024 年度の申請件数は 23 件（前年度 23 件）、助成件数は 22 件（前年度 20 件）でした。

佐藤さち子記念造血細胞移植患者支援基金

問い合わせ件数 66 件

申請件数 23 件

助成件数 22 件

助成総額 3,832,052 円

（累計 助成件数 384 件、助成総額 100,155,517 円）

④分子標的薬と精子保存への経済的支援「志村大輔基金」

2024 年秋口から 2025 年 3 月にかけて、「高額療養費自己負担額の引き上げ」問題が議論され、分子標的薬治療を継続する患者さんにとっては本件問題の決着について、とても気を揉む状況が続きました。幸いにして 2025 年 8 月の引上げは見送られましたが、早晚議論が復活する可能性もあります。そのような社会情勢の中、志村大輔基金の必要性がより高まっています。

志村大輔基金

問い合わせ件数 113 件

（問い合わせ内訳 分子標的薬 100 件、精子保存 13 件）

申請件数 分子標的薬 108 件、精子保存 6 件

助成件数 分子標的薬 113 件、精子保存 5 件

助成総額 分子標的薬 5,720,000 円、精子保存 118,825 円

(累計 分子標的薬 助成件数 833 件、助成総額 42,698,000 円、
精子保存 助成件数 110 件、助成総額 3,823,283 円)

⑤未受精卵子保存・生殖補助医療への経済的支援「このとりマリーン基金」

妊孕性温存について、公的な助成が始まってから、このとりマリーン基金への助成申請件数は激減しました。公的な助成により患者さんが救われることは喜ばしいことですが、患者さんの負担全てが賄われるものではありません。不足分をこのとりマリーン基金に申請できること、本基金で未受精卵子を採取・保存した患者さんを対象に、不妊治療の費用も支援することをもっとアピールしていきます。ハンドブック、フリーダイヤル、佐藤きち子基金、志村大輔基金とともに、HCTC ルートで広報を強化します。

また、2025 年 3 月に開催された AYWeek2025 では、初めて東京の会場にブースを出展し、このとりマリーン基金をはじめ患者助成基金の周知に努めました。

このとりマリーン基金

問い合わせ件数 7 件

申請件数 卵子保存 0 件

助成件数 卵子保存 1 件

助成総額 卵子保存 200,000 円

(累計 卵子保存 助成件数 39 件、助成総額 6,588,094 円

体外受精 助成件数 2 件、助成総額 552,680 円)

(2) ドナー支援活動

ドナー助成制度 38 都道府県、1,071 市区町村

ドナー休暇制度 879 企業・団体

(2025 年 3 月末現在 日本骨髄バンク調べ)

全国協議会の「ドナーサポートダイヤル」による相談件数は、減少傾向にあります。相談内容としては、血縁者からの提供依頼、HLA 検査の受け方、ドナー助成金、ドナーに選ばれた職場の同僚への対応、登録にあたっての既往症の問い合わせ、適合通知が届いた家族からの心配事などです。

ドナーサポートダイヤル (ドナー相談受付)

受付相談件数 12 件 (うち電話受付 12 件)

(累計 電話受付 1,298 件、メール受付 242 件 合計 1,540 件)

3. より良い造血幹細胞バンクと医療制度の充実を求める事業

(1) 要望・請願活動

2024 年度は「高額療養費制度 自己負担額引き上げ」の問題が社会で大

きな議論を呼びました。全国協議会・理事会でも早速本件対応につき議論され、国に要望書を提出することが議決されました。効果的な提出方法を模索していましたが、社会的関心が非情に大きいため国も対応が慎重になる中、骨髄・さい帯血バンク・献血推進議員連盟の笹川博義会長のご尽力により、2025年2月19日（水）に笹川会長とともに梅田正造理事長、鈴木敏生理事、山口明大理事が仁木博文厚生労働副大臣に直接、厚生労働大臣・厚生労働副大臣宛の要望書を手渡しました。

多くの患者団体、関係団体などが本件に関する要望を出した結果、2025年8月に予定されていた自己負担額引き上げは見送りとなりましたが、全国協議会としては、今後も引き続き成り行きを注目していきます。

（２）調査・研究・セミナー事業、国際交流

① 日本造血・免疫細胞療法学会総会への参加

2025年2月27日（木）～3月1日（土）の3日間に大阪国際会議場（大阪市）で第47回日本造血・免疫細胞療法学会（学会長：大阪公立大学 日野雅之教授）が開催され、全国協議会からは、梅田理事長のほか、関係理事が7人参加しました。今回の学会では、全国協議会としてのポスター発表、口演はありませんでしたが、来年の同学会での演題への取り組みのため、最新情報の収集に努めました。

また、例年出している全国協議会ブースでは、白血病フリーダイヤル、3つの患者支援基金に加え、ハンドブック「白血病と言われたら」第7版の周知を行いました。ハンドブックにご執筆いただきました血液内科医の先生方が多数ブースを訪れてくださいました。

② ブロックセミナーの開催

全国各地域での活動を促進するため、2024年度も地元団体（担当理事）が主管団体としてブロックセミナーを開催しました。全国協議会では2023年度から経費負担の増額など、開催の後押しを強化しています。その結果、実施数も前年度と比較して倍増し、また、加盟、非加盟を問わず、多くの骨髄バンクボランティア団体の参加を得ました。

開催期間		シンポジウム・セミナー	主管・協力等団体
2024年	11月2日	北海道ブロックセミナー (12団体27人参加)	北海道骨髄バンク推進協会
2025年	2月15日	東海北陸地区ブロックセミナー (ハイブリッド開催、5団体28人参加)	(東海北陸地区担当理事)

2025 年	2月22日	九州地区ブロックセミナー (5 団体 21 人)	(九州地区担当理事)
	3月23日	近畿ブロックセミナー (6 団体 33 人参加)	NPO 法人 関西骨髄バンク推進協会
	3月30日	関東甲信越地区ブロックセミナー (6 団体 26 人参加)	(関東甲信越地区担当理事)

③ 国際協力

アジア太平洋地区新興国の若手医療従事者へ学会や研修のために、APBMT（アジア太平洋造血細胞移植学会）に対し、保有しているデルタ航空のマイレージを提供しています。2024 年度は申請があったものの利用できる便が無かったため提供には至りませんでした。

また、2024 年度は WBMT（世界造血細胞移植ネットワーク）からも、協力の要請があり対応の予定でしたが、イベントのスケジュール変更のため、提供には至りませんでした。

（３）日本骨髄バンク、日本赤十字社との連携

2024 年 6 月に就任された公益財団法人日本骨髄バンクの岡本真一郎理事長に対し、就任後速やかにお祝いを述べるとともに、今後の更なる連携を確認し合いました。また、同財団の広報渉外部長と定期的に意見交換を行い、実務レベルで諸課題の解決に取り組んでいます。

日本赤十字社とは、血液事業本部技術部の高瀬隆義次長・石丸文彦調整監、造血幹細胞事業管理課の方々を訪ね、今後の連携を確認し合いました。

① 役員・委員の派遣

厚生労働省造血幹細胞移植推進拠点病院事業・評価会議委員（梅田正造理事長）
日本骨髄バンク評議員（大谷貴子副会長、梅田正造理事長）
日本骨髄バンクアドバイザリーボードメンバー（菅早苗参与）
日本赤十字社造血幹細胞事業検討委員（梅田正造理事長）

② 日本骨髄バンク 評議員会への出席、理事会・業務執行会議等については、傍聴はかならず資料取り寄せのみとなりました。

③ 日本骨髄バンク 全国都道府県担当者会議の傍聴 2024 年 8 月 7 日（水）

④ 日本赤十字社 造血幹細胞事業広報作業部会への参加 オブザーバー参加 3 回

一般の方、特に若年層へ造血幹細胞移植の理解を広めるための広報誌「BANK!BANK!」編集作業会議での助言を行い、また、加盟団体を通して配付した広報誌の使用状況や反応、評判について集約し意見を述べました。

4. 運動体の強化、財政改善の活動

（１）運動ネットワークの強化

- ・2024 年度も理事長、副理事長、各理事が各地との連携に取り組みました。各ブロックのブロックセミナーには時間の許す限り、地区担当理事だけではなく、理事長、副理事長が現地参加、または Web 参加し、積極的に情報交換、意見交換をしました、
- ・2022 年度の埼玉骨髄バンク推進連絡会、2023 年度のあいち骨髄バンクを支援する会に続き、2024 年度は千葉骨髄バンク推進連絡会が第一生命保険株式会社の「保健文化賞」を受賞、全国協議会の加盟団体が 3 年連続して同賞を受賞しました。同賞受賞は「保健衛生および関連する福祉等の分野において、優れた功績をあげた」という栄誉だけではなく、社会の関心を骨髄バンク事業や血液難病患者支援に向けてもらう契機となるもので、全国協議会の目的に大きく寄与するものです。今後も骨髄バンクボランティア団体の受賞が続くことができれば大きな意義を持つことになります。
- ・日本骨髄バンクとは担当者レベルで情報共有、意見交換を行うことにより、実務的な課題の解決に取り組んでいます。①首都圏における平日活動可能な説明員不足という問題に関しては、東京のみならず、神奈川、千葉、埼玉のボランティアが県境を越えて登録会に参加することにより解決しようと日本骨髄バンクと協議した結果、首都圏の大学等での登録会が活性化し、若年者の登録促進に大きく貢献しました。また、②ドナー休暇制度・公欠制度も全国の各地団体の取り組みにより、大きな成果が上がってきています。
- ・まだ端緒についたばかりですが、今後も各地団体と全国協議会の執行部が有機的に連携し合うことにより、患者さん・ご家族のために、さまざまな取り組みにおいて成果を目指していきます。

（２）全国協議会の組織強化・財政改善活動

- ・千葉骨髄バンク推進連絡会が、第一生命第 76 回保健文化賞を受賞されました。
- ・2024 年度は 4 月に、滋賀骨髄献血の和を広げる会が全国協議会に加盟しました。2022 年度の NPO 法人関西骨髄バンク推進協会に続いての新規会員加盟となりました。一方で沖縄県骨髄バンクを支援する会が解散のために 2024 年度に退会しました。近年実質的な活動停止などの理由により退会する団体がありますが、その主な理由は活動員の高齢化、新規ボランティアの不足です。その対策が喫緊の課題となっています。

- ・前年度に引き続きブロックセミナーに対し全国協議会から上限 20 万円まで費用補助されました。その結果、2024 年度の開催ブロックは更に増えています。費用の大半が参加者の交通費でした。
- ・2024 年度末の事務局職員は常勤職員 3 人体制が続いています。職員の高齢化問題も抱えているために、早期に新体制を構築することが課題となっています。
- ・2023 年度末に佐藤きち子記念造血細胞移植患者支援基金（特定資産）を 17,000 千円積み立て、同基金による患者支援のために特定資産から 9,000 千円を取り崩し、佐藤きち子基金の患者支援金をはじめとした事業費に充当しました。2024 年度、同基金運営の結果、2024 年度末時点の事業費用口座の現金有高は約 2,500 千円になりました。2025 年度の同基金の事業費支出のため、特定資産の 5,000 千円の取り崩しが第 188 回理事会（2025 年 3 月 16 日）で議決されました。
- ・財政に関しては、2024 年度は当初予算と比較するとその幅は圧縮されましたが、経常外を含めた最終正味増減額は約 10,000 千円の欠損となりました。経常収益は前年度と比較して 7,390 千円増加していますが、事業費が対前年度比 4,375 千円増となっています。事業計画の多くが執行された結果ではありますが、財政構造の根本的な見直しが求められます。
- ・とはいえ、2024 年度末の正味財産は 95,000 千円以上あります。これは事業費 2 年分以上の額に相当します。患者支援活動・骨髄バンク事業啓発活動の更なる強化、7 割要件問題の解消に取り組みながら、柔軟な財政コントロールが求められています。
- ・2024 年度はクラウドファンディングを実行（2025 年 1 月 20 日から 3 月 31 日まで）し、目標の 3,000 千円を超える 3,300 千円の支援をいただき、2025 年度にきち子基金に充当します。全国協議会への入金 は 2025 年 5 月の予定です。

以上